

青森の「いま」と「みらい」をつなぐ広報紙

県民だより あおもり

8月
2020
令和2年
No.182



暮らすこと

働くこと

あおもりで

いまだからこそ考えたい。

都会では
味わえない
休日!

奥入瀬溪流 / 十和田市

COVER PEOPLE

建築家
渡部 良平さん・
横濱 久美子さん
(十和田市在住)

CONTENTS / 目次

P2 特集 あおもりで働くということ

P4 特集 データから考える 高校生の県内就職

P6 連載 CAFE AOMORI

P6 連載 いただきます。あおもりメシ「ホヤ&ミズレシビ」

P7 連載 【県職員最前線リポート】 あなたの周りは大丈夫？
今すぐブロック塀の安全点検を!

P7 ミニ特集 ・#AomoriOvation #あおもりを守ろう
・泊まって応援、旅して発見!「あおもり宿泊キャンペーン」

P8 連載 申吾のほっとコラム / あおもりインフォメーション



縄文遺跡群は2021年の
世界遺産登録をめざしています。

特集 あおもりで働くということ

青森に
地元就職したひとと、
戻ってきたひと、
それぞれの立場から感じた
青森での子育てや働き方、
青森で暮らす魅力などを
語っていただきました。

ずっと
青森在住で
働いている
ひと

青森に
戻ってきて
働いている
ひと

株式会社青森ダイハツモーターズ
総務部【総務G】チームリーダー
係長
今有紀さん

NPO法人あおもりIT活用
サポートセンター
事務局長・理事
本田 政邦さん

青森市生まれ。県内の高校を卒業後、青森ダイハツモーターズに入社。10歳・5歳の子どもを持つママ。あおもり女子就活・定着サポーターズ、通称「あおもりなでしこ」メンバーとしても活躍。

青森市生まれ。父親の仕事の関係で幼少期から全国を転々とし、大学を卒業後は都内に就職。7年前に青森市に戻り、現職に就く。12歳・5歳・2歳の子どもを持つパパ。

東京暮らしや子育てを経て青森の良さを実感

「青森県で暮らすことを決めたきっかけは？」

本田 父親が体調を崩したことで、仕事も決めずに、両親がいる青森に移り住むことを決断しました。もともと青森には小学生時代の4年間しか住んだことがなく、イメージは「おばあちゃんの家があるところ」ってことぐらいでした。青森は首都圏に比べると職業選択の幅が少ないなど感じたものの、こっちに来て半年間は積極的に地域のコミュニティに参加し、縁あって現在の職に就きました。青森に来てから出会った妻と結婚して、子どもにも恵まれ、現在に至ります。

今 私は親元を離れる不安があり、高校卒業後は地元企業に就職すると決めていました。県外に就職をした友達もいますが、私にはその選択はありませんでした。ね。



「働く場所・暮らす場所としての青森県の長所って？」

本田 バーベキューや釣りが趣味の自分としては、車で20分のところまでそれが叶うのは嬉しいですね。源泉掛け流しの温泉だって、徒歩圏内。東京じゃ考えられないことです。都会と比べて3密になりにくいのには安心感がありますね。

今 自然豊かで公園も多いから、子育てがしやすいですよ。山や海も近くて、遊ぶところに困らないというか。子どものストレス解消にもなるし、楽しむ子どもを見ると親も嬉しい。自分が若い頃は、何もないとか、はやりの服が買えないとか、悪い部分に目が行きがちでしたが、子どもが生まれてから見方が変わりました。あと、やはり子育てをする上で親のサポートが受けられることも大きいですね。

本田 確かに、今となつては自分が都心で子育てするイメージは湧かないですね。両親のサポートがあるのはかなり心強いです。おかげで夫婦二人の時間を楽しむこともできますし。



今さんの
1日のスケジュール

6	6:30 起床・朝食
7	7:00 子どもを両親宅へ
8	掃除・洗濯
9	9:30 出社
10	必要書類の作成、
11	来客対応など
12	(残業がある日もあり)
13	
14	
15	
16	
17	18:00 退社
18	18:30 両親宅へ子どもの
19	お迎え・夕食
20	20:00 買い物後、帰宅、お風呂
21	21:30 子どもの寝かしつけ、
22	一緒に就寝
23	

休日の過ごし方



浅虫の海岸で子どもたちと水遊び!

本田さんの
1日のスケジュール

6	6:30 起床・朝食
7	7:30 子どもを保育園へ
8	8:00 出社
9	清掃などの施設管理、
10	打ち合わせ、
11	書類作成・事務処理など
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	18:00 退社
19	18:30 子どものお迎え・帰宅
20	19:00 夕食・お風呂
21	
22	21:00 子どもの寝かしつけ、
23	一緒に就寝

休日の過ごし方



元気いっぱい子どもたちと自然の中で外遊びをします。

ITの発達で
都会との格差は
なくなっていく

ーもしご自身の子どもが都会に憧れを抱いたら?
本田 本人が望めば一度は県外に出てもいいと思います。いろんな世界を見た上で青森を選ぶのか、本人に考えてほしいかな。

『遊びに行くなら東京だけど、
住むならやっぱり青森』

今 私もそう思いますが、最終的には戻ってきてほしいです。自分自身が、東京には遊びに行きたいとは思っているものの、住む場所は青森がいいと感じています。

本田 今は遠隔で教育を受けることもできるので、自然が近くにあるところに住みつつ、オンラインでいい教育も受けるという選択も増えるかもしれません。自然とITのハイブリッドがいいのかもしれないと考えています。

ー青森県がもっと良くなるためには?
本田 もう少しIT化が進んでくればもっと便利になるのかなど。最近では電子決済ができるお店も増えていますし。IT関係の仕事が増えれば、Uーリターンは今後ますますハードルが低くなりますよね。

今 住む人だけでなく、観光で青森県に来る人がより楽しめるようになれば、さらに発展しますよね!



左: (移住・交流相談員) 澤千絵さん
右: (就職相談員) 松島 彰司さん

ウェブで情報収集するなら
青森県移住・交流ポータルサイト
「あおもり暮らし」
Uターン・移住に向けた県・市町村の支援情報、先輩移住者インタビューなど、情報が盛りだくさん!

青森で暮らしたいあなたも応援!

Uターン・移住も考えている人へ
青森県への移住相談窓口
青森暮らしサポートセンター

2名の相談員が、仕事や暮らし、住まいなど、本県へのUターン・移住に役立つ情報の提供や個別相談に応じています。対面相談のほか、電話やメール、ウェブ会議ツールを活用したオンラインでの相談にも対応しています。県外にお住まいのご家族やご友人にぜひご紹介ください!

【住所】東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階 (認定NPO法人ふるさと回帰支援センター内)
☎090-6342-6194
【E-mail】aomori@furusatokaiki.net
【開設時間】10:00~18:00 (月曜日・祝日・お盆及び年末年始を除く)

地元就職も考えている女性へ
あおもり女子就活・定着サポーターズ
「あおもりなでしこ」

県では、県内でイキイキと輝きながら働く女性約20名の方々と、あおもり女子就活・定着サポーターズ、通称「あおもりなでしこ」に任命しています。「あおもりなでしこ」の皆さんとの交流会や企業見学会を通じて、県内で自分らしく働きたい女性の県内就職を応援しています!

問い合わせ先/労政・能力開発課 ☎017-734-9398
詳しくは [あおもりなでしこ](#)

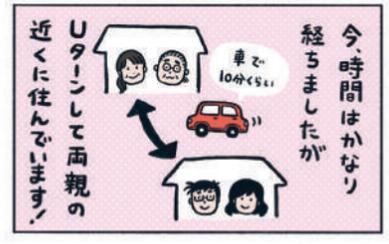
県外に住む大学生や転職希望者へ
青森県UIターン
還流促進交通費助成

県では、青森県内企業の人財確保とUIターン就職の促進に向け、県外大学生や転職希望者などが県内での就職活動やインターンシップ参加などのために、県外の住所地と、県内の目的地の間を移動する交通費や宿泊費を助成しています。

問い合わせ先/労政・能力開発課 ☎017-734-9398
詳しくは [青森県 交通費助成](#)

あおもり日和

Vol.2 両親見守り型Uターン!?



長谷川 ちひろさん (デザイナー・イラストレーター)
弘前市出身。高校卒業後、東京。武蔵野美術大学卒業後、デザイン事務所にてエディトリアルデザイナーとして7年間勤務。結婚を機に、2018年青森へUターン。現在はフリーランスで活動中。

保護者の意見

子どもとしっかり話し合いを!

県内就職は、確かに就職の選択肢や企業の情報が少ないというデメリットがありますが、通勤時間や物価の安さ、地元の安心感などの大きなメリットもあります。これからは、バイト(有給職業体験)で企業のリアルな雰囲気を把握する機会や、地元企業を積極的に応援し、日頃から子どもたちに企業の情報を見せて届ける工夫が必要と考えます。

また、進路決定の際に意識しているのは、子どもには親の考えを押し付けずにアドバイスするという点。何度も話し合いはしますが、最後は子ども自身で具体的に決められるよう見守っています。



青森県高等学校PTA連合会 進路対策委員会 古館 至 前委員長

Check! 一人を取り組みやっています!

保護者・教師向けの県内企業説明会を開催

保護者や教師は生徒の身近なアドバイザー。そこで、昨年度、保護者や教師が対象の県内企業説明会を県内3カ所で開催しました。当日は就職先選びのポイントを学ぶショートセミナーや、県内企業が1分間で自社の魅力を伝えるプレゼンテーションなどを実施。参加者からは「子どもと一緒に県内就職を考えてみたい」といった前向きな意見が寄せられました。



問い合わせ先/労政・能力開発課 ☎017-734-9398 詳しくは県庁HP 保護者・教師のための企業説明会 🔍検索

ハローワーク担当者の意見

今こそ地元企業の魅力発信が大切

令和2年3月卒のデータと比較すると、「専門・技術・管理の職業」および「事務の職業」は、生徒の希望数に対し求人は少ない傾向。実際に多い求人は「サービス業」、「生産工程・労務」等です。ミスマッチは早期離職の原因にもなりますので、生徒や保護者がSNSなどで県内就職の情報を知る機会を作ることが重要と考えます。

新型コロナウイルス感染症の影響が出ているところですが、就職を希望する生徒の目はこれまで以上に地元企業に向いていますので、企業の皆さまには、可能な限り早期の求人提出をしていただくとともに、企業の魅力を積極的に発信いただくようお願いいたします。



青森公共職業安定所 学卒部門 前田 洋輝さん

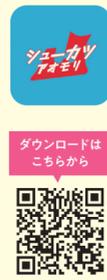
Check! 一人を取り組みやっています!

県内就職に関する情報収集は「シューカツアオモリ」で!

県公式の就活アプリ「シューカツアオモリ」では、地元企業の情報や先輩社員からのメッセージのほか、県や市町村等が主催する就活イベントなどをお知らせしています。

ダウンロードは無料で、個人情報の登録は不要! 県内就職の際に役立つ情報が満載ですのでぜひご利用ください。

問い合わせ先/労政・能力開発課 ☎017-734-9398 詳しくは「シューカツアオモリ」 🔍検索



特集 あおもりで働くということ



データから考える

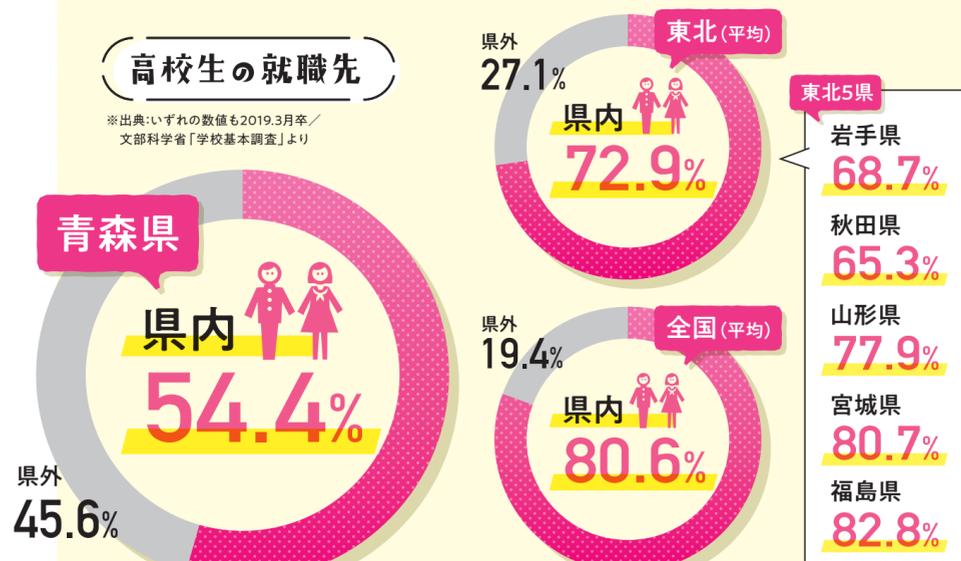
高校生の県内就職



高校卒業後に県内就職する高校生の割合は、実は青森県が全国で最下位。東北各県と比べても低いこの数値、どのような課題があるのか、いろいろな意見を聞いてみました。

高校生の就職先

※出典:いずれの数値も2019.3月卒/文部科学省「学校基本調査」より



子どもの就職先に対する保護者の希望

※出典:企画調整課「平成30年高校生の就職に関する意識調査」より

子どもが『県内就職』希望

子どもが『県外就職』希望



保護者も『県内就職』希望

保護者は『県内外どちらでもよい』

51.0%

67.3%



子どもたちの未来のこと、一緒に考えてみませんか!

先生の意見

多彩な選択肢と積極的な企業見学を

本校の県内就職者は7割程度。生活費や通勤時間、何より住み慣れた生活環境を考慮して県内就職をする生徒は多いですね。

生徒本人はどうしても賃金や先輩からの話などを重視する傾向にあるので、しっかりと家庭でも話し合い、納得の上で進路決定することが大切です。

進路指導においては多彩な企業の情報を見せて選択肢を与えることや、長く勤められるかを真剣に考えさせ、応募前に積極的に企業見学をさせることが必要と考えます。



青森商業高校 進路指導部 谷村 学先生

Check! 一人を取り組みやっています!

県内就職を支援する就職支援員を高校に配置

例年、県内就職の希望者数に対し、実際に県内就職している高校生は10%程度少ないという現状があります。このようなギャップを解消し、県内就職を希望する高校生の進路志望が確実に達成できるよう、今年度から県内9つの高校に「就職支援員」を配置し、県内求人の新規開拓や生徒一人ひとりの進路相談に取り組んでいます。



問い合わせ先/学校教育課 ☎017-734-9883 詳しくは県庁HP 就職支援員 🔍検索

地元経営者の意見

働きがいのある企業は地元にもある!

高校生の県内就職率が低いということで、貴重な人材が県外に流出していることがとても残念です。土木建築業界では企業の規模を問わず、働き手不足が深刻化していますので、この状況を改善する必要があります。

また、今後の会社の発展のためにも女性活躍やワークライフバランスの推進は欠かせません。県内にも働きがい・将来性のある会社があるということをしっかり伝えたいですね。今や、「どこに住むか」は問題ではない時代です。一度さりの人生を地元青森で、大切な人と一緒に過ごせることはかけがえのない喜びだと思います。



株式会社西田組 西田 文仁社長

Check! 一人を取り組みやっています!

交流会・見学会で地元就職の魅力を直接PR

地元企業や地元就職の魅力を高校生に知ってもらうため、さまざまな高校で企業の採用担当者等との交流会や企業見学会などを実施しています。

交流会では、各企業の若手社員やベテラン社員が商品や模型などの実物を見せながら、業務内容や仕事のやりがい、地元の暮らしの魅力などについて熱く語っています。



問い合わせ先/企画調整課 ☎017-734-9128



県内で活躍している人たちが
未来に継ぎたいさまざまな
「あおもり愛」を語ります。

建築家
**渡部 良平さん・
横濱 久美子さん**
(十和田市在住)

PROFILE

2016年に東京から十和田市に移住して建築事務所を立ち上げ、青森県内を中心に活躍する建築家夫妻。生まれも育ちも東京の渡部さん、東京生まれ北海道育ちの横濱さん、移住後に誕生したお子さんと渡部さんのお母さんの4人で青森暮らしを満喫する日々。2019年よりギャラリー「東北のしごと」も始め、地域の魅力を発信しています。



移住で最適な生活環境に。
豊かな自然と
地域との関わりを楽しむ日常。

- 1.ご夫婦で共同設立した渡部環境設計事務所。築35年の木造住宅をリノベーションし、ギャラリー「東北のしごと」も併設。
- 2.施工現場で完成模型を見ながら最終チェック。
- 3.リノベーションを手掛けた奥入瀬渓流温泉郷の旅館「灯と楓」。
- 4.6月に竣工した店舗兼住宅には青森県産材が多く使われています。



「縁もゆかりもない十和田市への移住。そのいきさつを教えてください。」
横濱 私は親の仕事の都合で北海道の網走で育ちました。東京の大学に進学して、卒業後は都内で設計の仕事をしていました。青森県出身の両親が定年後に、野辺地町に住むことになり、その家を設計するために青森を訪れたことが、移住を考えるきっかけに

なりました。
渡部 結婚して二人で建築事務所を立ち上げようと考えていたので、一から始めるならば場所にこだわる必要もないし、都会よりも地方の方がコミュニティに入っていくやすいのではという考えもあって、十和田市を選んだのは、街の規模がちょうど良かったことと、興味深い建築物が多かったから。友達も



知り合いもない土地でのスタートでしたが、町内会に入ったことがきっかけでいろんなつながりができて、どんな輪が広がっていききました。
— 東京から青森へ。移住のメリット・デメリットは？

横濱 デメリットは特に感じたことがありません。都会に比べて選択肢が多くないことは、悩まなくていいという点で、むしろメリットだと感じています。

渡部 自然の中で暮らせるメリットが一番大きいと思います。いつでもリフレッシュすることが出来る。車を30分走らせれば奥入瀬渓流ですし、カメラを持って頻繁に出かけています。田舎は自然が豊富でよく聞く話ですが、ここはそのクオリティが高いと思うんです。

横濱 それは子どもにとってもいい環境です。それに、地域の関わりが深いので、家族ぐるみで気軽に交流ができる。東京だったらできなかったこともありません。

渡部 生活の質を大切にしたい方には、青森はオススメの移住先だと思います。



保存版
青森の家庭の味を伝授!

連載第2回
いただきます。
あおもりメン

「この素材、どうやって扱うの?」
「どうやって食べるの?」
そんなギモンにおこたえします。
お母さんやおばあちゃんがよく作ってくれていたあの家庭料理を自分でも作ってみましょう!



リンや鉄分、カリウムなど
ミネラル豊富な海の珍味

ホヤとミズの水物

カロリー 107kcal 塩分 5g 調理時間 約15分

材料(4人分)

- ・ホヤ…2個
- ・ミズ…適宜

【昆布水】最初に混ぜておく

- ・水…200ml
- ・唐辛子…少々
- ・塩…小さじ1/2
- ・切昆布…5g

作り方

- 1 ミズは5cmの長さに折りながら皮をむく。(皮をむいてから切り揃えても良い)
- 2 ミズを30~60秒さっとゆで、冷水にさらして粗熱をとる。
- 3 昆布水にミズを浸す。
- 4 ホヤをさばき、きれいに洗ったら、食べやすい大きさに切る。
- 5 ホヤとミズを器に盛り、昆布水を注いで出来上がり。

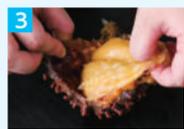
意外とかんたん!
「ホヤをさばいてみよう!」



2つの突起を切り落とす。



切り口から包丁を入れ殻を切る。



殻から身を剥がす。



赤茶色の部分を取る。



身の中にある泥や排泄物をきれいに洗ったら食べやすい大きさに切る。



ミズを折りながら、片面ずつ交互に皮をむく。皮が残った部分は丁寧にむく。



旬の食材
ホヤ

ミズ

食材メモ
旬の時期
6~9月ごろ
Instagram
でも公開中!



夏のおつまみに
ぴったり!

ホヤの塩辛風

カロリー 91kcal 塩分 3.5g 調理時間 約65分

材料(4人分)

- ・ホヤ…2個
- ・塩…2つまみ
- ・青じそ…5枚(千切りにし水にさらす)

作り方

細切りにしたホヤに塩を加えて混ぜ、冷蔵庫で1時間休ませる。味がなじんだら器にホヤと青じそを盛り付けて出来上がり。

※ホヤは1個500g(殻付き)、中身は150gの大きさでの換算となりますので、大きさによって塩の分量を調整してください。

レシピ監修

自宅れすとらん「こんみど」
主宰 尾崎優さん

青森市在住。辻調理師専門学校(大阪市)を経てフランスへ。一つ星レストランで研修し帰国。2012年、自宅れすとらん「こんみど」を開業。地元で食べ続けられてきた昔ながらの素材な青森の郷土料理と家庭料理を中心に提供。

あなたの周りは大丈夫? 今すぐブロック塀の安全点検を!

今回の県職員



建築住宅課
 たかく ようすけ
高久 洋介
 建築行政に関わって9年目、2児のパパとして子育てに奮闘中! 趣味は娘との防災散歩。

大地震への備え、 どれくらいできていますか?

私は、住宅や建築物の耐震化を進める仕事に携わっています。地震大国である日本において、“地震に強い建築物”はとても重要です。古い住宅でも筋かいなどを補強して耐震化する事例も多くなってきました。公共施設においても耐震改修工事を行って地震に備えるところが増えています。

建築物の耐震化が進む一方で、避難する際の危険性も指摘され始めています。平成30年に発生した大阪北部地震では、ブロック塀の倒壊により通学中の児童が亡くなる事故も起きています。こういった危険から皆さんの命を守るため、次の2つの取り組みを進めています。

【取り組み①】あなたの周りは大丈夫? 今すぐブロック塀の安全点検を!

地震の際は建築物の被害に注目しがちですが、実はブロック塀の倒壊も多く起こっています。住宅と同様、古いブロック塀は地震で

倒壊する危険性があります。県は年に2回、防災週間に合わせて地域のブロック塀の安全点検パトロールを行い、ブロック塀の所有者の皆さんへ安全点検を呼びかけています。



▲安全点検パトロールの様子

【取り組み②】もし危険なブロック塀だと わかったら

安全点検の結果、地震が起きたら倒壊する危険性が判明することもあると思います。県では市町村と協力して、危険なブロック塀を除去、造り替える場合に工事費の一部を助成しています。また、多くの県民に活用していただけるよう、周知活動を行っています。



詳しくは県庁HP 建築住宅課 ☎017-734-9693

自分の命を守る。地域の命も守る。

この仕事をしていると「青森県は災害が少ないし、災害に対する危機意識が低いのでは?」と言われることがありますが、県民一人ひとりの危機意識が高いからこそ、近年、住宅や建築物の耐震化が進んできているのです。

ただ、これまでは「自分の家を耐震化して、自分(家族)の命を守ろう」という取り組みがほとんどでしたが、これからは「ブロック塀もしっかり安全点検し、地域に暮らす皆さんの命も守ろう」という取り組みも進めていきたいと考えています。災害への備えは、一人でも多くの人が共通の意識をもって取り組む必要があります。

皆さんも家族や地域の人と話す中で、住宅の耐震化、ブロック塀の安全点検を話題にしてみてください。



▲娘と防災散歩

#AomoriOvation #あおもりを守ろう



県では、新型コロナウイルス感染症を県民一丸となって乗り越えていく気運を盛り上げていくため、「AomoriOvation」(あおもリオベーション)という取り組みを進めています。

◎著名人による応援動画などを 公開しています

- 県内の高校生によるチャレンジ動画
- 県民の皆さんから最前線で働く方への感謝・応援メッセージ
- 著名人による県民への応援メッセージ動画



▲応援メッセージ動画に登場する駒井蓮さん

◎店舗・事業所向けのポスターや ロゴマークをご活用ください

飲食店などでの感染防止に向けた取り組みを利用者にわかりやすく伝えるため、店舗・事業所向けのポスターデザインを公開しています。

ロゴマークも名刺、名札など自由にお使いになれます(商用の場合は、簡単な書類の提出をお願いしています)。

感謝と応援の気持ちをつなぎ、支え合いながら、**私たちのふるさとあもり**を守っていきましょう。



▲店舗・事業所向けポスター



詳しくは
 地域活力振興課 ☎017-734-9133

泊まって応援、旅して発見! 「あおもり宿泊キャンペーン」



1人1泊あたりの宿泊費(税込)から **5,500円割引** で泊まれるとってもお得なキャンペーンです!

青森県内の宿泊施設を支援し、県内観光を復活させるための、泊まって応援、旅して発見!「あおもり宿泊キャンペーン」が7月からスタートしました!

私たち青森県民が県内の宿泊施設に泊まることで、宿泊施設の応援につながります。応援団の一員として、このキャンペーンを機に、県内各地へお出かけしてみませんか。これまで気付かなかった、青森県の新たな魅力に出会えるかもしれません!

例えばこんなプランが!

- ウニ、マグロなど海の幸を含む地元産品料理を、食べきれないほどお腹いっぱい食べるプラン
- 青森県の“うめえ〜”もの(青天の霹靂など名産品の詰め合わせなど)が、泊まるだけでももらえるプラン

【宿泊対象施設】223施設 ※宿泊プランには限りがありますのでご注意ください。

【宿泊対象者】青森県内にお住まいの方

詳しくは
 誘客交流課 ☎017-734-9384

青森県新型コロナウイルス感染症対策総合サイト

青森県の「新型コロナウイルス感染症」に関する最新情報はこちら



詳しくはHP
<https://stopcovid19.pref.aomori.lg.jp/>

※県民だよりあもり6月号(No.181)に掲載した新型コロナウイルス感染症の相談・受診の目安は、変更されました。詳しくは上記総合サイトでご確認ください。



今回のテーマ 「決め手くんダンサーズ」が行く!

青森県知事 三村申吾

「ハイ、知事。そこ、腰が入ってない!!そこは、もっとお尻振って!!それ、それ、ドスコイ、ドスコイ。県産品どんどん売れる。ガンバって!!」

ダンサーズキャプテンによる、気迫(怒号!?)の指導の下、なんとか習得した青森県産品イメージソング「決め手くんが行く!」ダンス新バージョンを引っさげて、テレビ出演やスーパーなどでの店頭PR用DVD撮影を頑張ってきた。

5月15日(金)~7月14日(火)まで県内を中心に508店のご協力をいただいた「県産品を買って元気あおもりキャンペーン」のためである。

これには、今こそ県民の皆様へ青森県産品の数々にご注目いただき、ご愛用いただくことで、新型コロナウイルス感染症に痛めつけられた県産品を足元から少しでも動かそうとの思いが込められている。

この5年来、だしを活用した高血圧対策の「できるだしダンス」や糖尿病予防の「NO More 高血糖ダンス」を、

自分では年間県内20ヶ所ほど、ダンサーズでは60ヶ所ほど踊ってPRに努めてきたので、「今度のこれ何!？」と驚かれた方もいらっしゃるかもしれない。

実は、「りんご」「にんにく」「帆立」等々の多彩な県産品を前後にプリントしたTシャツを重ね着した上で、「決め手くんが行く!」の歌とダンスに合わせ、例えばキャプテンが「りんご!」と発するのに対応して、「日本一の生産量。品質世界最高。今、甘くて美味しいのはふじと王林。」と瞬間的かつ的確なフレーズを返しなが、1枚1枚Tシャツを脱いで次々と県産品を紹介していくPR手法を、東京から沖縄に至る全国のスーパーやデパート、市場などでの青森フェアの大トリとして、十数年来行ってきた。

これにスコップ三味線を加えたバージョンもあるのだが、お客様がお腹を抱えて笑い転げて元気になってくださると同時に、青森県産品をズバリ知ってくださることが本当にありがたい。拍手喝采にダンサーズもまた燃える。今回の県内バージョンでは、「県産日本酒」や「県産

和牛」のTシャツを新調し、更に商品パネルと巨大模型を製作した。

これまでの「りんご」「にんにく」「帆立」などに加え、「空飛ぶクロマグロ」「県産日本酒の瓶」「さしのたっぷり入ったお肉のブロック」などの巨大模型を新たに製作し、本気度を充足させた。

決め手くんダンサーズとしては、自分たちの渾身の舞が、県産品の生産者のもとより、流通・販売に携わる方々をはじめ、多くの県民の方々の雇用の維持や暮らしを守るため、県産品を足元から少しでも動かすことができたら嬉しいとの思いで、必死に踊って県産品愛用を呼び掛けたところである。

本来は、県内各地で県民の皆様へ直接PRしたいが、いわゆる「三密」の課題があり、今はまだ叶わない。申し訳ありません。

しかし、決め手くんダンサーズの思いは不変であり、むしろ高まっています。スーパーなどの店頭DVDでダンサーズのパフォーマンスをご覧になった際に、少しでも笑っていただき、元気な気持ちになってもらえたら、ダンサーズも本望ですし、自分としても本当に嬉しいです。県民の皆様と共に、「元気あおもり」頑張っていきます! ※決め手くんダンサーズの活躍は、県庁総合販売戦略課ホームページ「青森のうまいものたち」でご覧いただけます。

AOMORI INFORMATION あおもりインフォメーション

個人事業税の第1期の納期限は8月31日です!

個人事業税は、8月上旬に送付される納税通知書により、原則として8月と11月の2回に分けて納めていただきます。今年度の第1期分の納期限は8月31日(月)です。期限までにお近くの金融機関やコンビニなどで納めてください。

また、**新型コロナウイルス感染症の影響で納税にお困りの方は、納税が猶予される制度があります。**

個人事業税及び納税の猶予制度に関するご相談は、最寄りの地域県民局県税課にお気軽にお尋ねください。

詳しくは県庁HP 税務課 ☎017-734-9064

青の煌めきあおもり国スポ(第80回国民スポーツ大会) イメージソングをRINGOMUSUMEが歌ってくれました

イメージソングを、音楽プロデューサーの多田慎也さんが編曲し、本県のご当地アイドルRINGOMUSUME(りんご娘)が歌ってくれました。レコーディング風景やRINGOMUSUMEからの応援メッセージの映像などを、下記のホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。皆さんも、イメージソングを歌って、一緒に青の煌(きら)めきあおもり国スポを盛り上げていきましょう!



詳しくは県庁HP 青の煌めきあおもり国スポ 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会事務局 (国民スポーツ大会準備室内) ☎017-734-9703

10月1日は国勢調査! インターネット回答が便利です

国勢調査は、日本国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、統計法に基づいて5年に一度実施される大切な調査です。国籍や年齢に関係なく、日本に住んでいるすべての人が対象です。忘れずにご回答ください。

インターネット回答は、回答期間中であれば24時間いつでも可能で、とても便利です。新型コロナウイルス感染症予防に配慮して実施しますので、ご協力をお願いします。

インターネット回答用ID・調査票配布	9月中旬から
インターネットでの回答期間	9月14日~10月7日
紙の調査票での回答期間	10月1日~10月7日



詳しくは県庁HP 統計分析課 ☎017-734-9618

高等学校等予約奨学生募集

~高校進学前に奨学金を予約する制度です~

【対象】保護者が青森県の住民で、来年4月に高等学校などへ進学を希望する中学3年生

【貸与月額】次のうち、奨学生が必要に応じて希望する金額

ア:18,000円、イ:23,000円、ウ:30,000円、エ:35,000円

【返還】無利子で、貸与終了後1年据置、貸与期間に3を乗じた期間内に全額返還(3年間借りた場合は9年間で返還)。**通学費及び下宿費などの一部返還免除制度あり。**

【申込・締切】県内の各中学校にある「予約申込書」と添付書類を、指定する日までに学校へ提出(中学校から本会への締切は9月10日(木))

詳しくは県庁HP 青森県育英奨学会(教職員課内) ☎017-734-9879

みなさんと県庁を結ぶ県政インフォメーション

- テレビ ◆RAB「LINK/青森県」(30秒スポット) ◆RAB「大好き、青森県。」(第三日曜日)17:00~17:15[放送週が変更になることがあります] ◆ATV「みんなの県庁!」(土)16:55~17:00 ◆ABA「メッセージ」(土)9:30~9:35
- ラジオ ◆RAB「青森県広報タイム」(月)~(木)7:30~7:35 ◆エフエム青森「あおもりふぁん」(月)~(金)16:55~17:00
- 新聞 ◆東奥日報・デーリー東北・陸奥新報「広報あおもりけん」(毎月1日・16日)
- HP/Twitter ◆県のホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/> ◆青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref)

青森県広報広聴課公式SNSもチェック!

Facebook Twitter Instagram

編集発行 青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。 ※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあおもり」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。 この印刷物は520,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.5円です。